

第 1 0 0 0 回教育委員会会議概要

1 日 時 平成 2 6 年 4 月 1 1 日（金）午後 1 時 4 0 分～

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 川畑委員長 吉井委員 清川井委員 西野委員 林教育長
国久企画幹 三田村企画幹（学校教育） 松田企画幹（高校改革）
上野企画幹（義務教育） 穴吹教育振興課長 田中高校教育課長
山元生涯学習・文化財課長 吉野スポーツ保健課長
古谷高志高校長 窪田高志高副校長
大原坂井高校長
小和田教育研究所長 牧田調査研究部長 斉川研修部長
中荒江教育相談部長

4 議 題

日程第 1 第 1 号議案 教職員の懲戒処分について

日程第 2 第 2 号議案 福井県教科用図書選定審議会委員の任命について

日程第 3 第 3 号議案 福井県文化財保護審議会委員の任命について

5 審議事項

（１）開会宣告

（２）会議録署名人の指名 吉井委員 西野委員

（３）議事要録

委員長 日程第 1、第 1 号議案から日程第 3、第 3 号議案までの 3 議案について、
非公開としたい旨発議

———当該議案を非公開と決定———

委員長 日程第 1、第 1 号議案を議題

企画幹 資料に基づき説明

委員長 第 1 号議案について、原案に対する異議の有無を確認

———原案どおり可決———

委員長 日程第２、第２号議案を議題

企画幹（義務教育） 資料に基づき説明

委員長 第２号議案について、原案に対する異議の有無を確認

————原案どおり可決————

委員長 日程第３、第３号議案を議題

生涯学習・文化財課長 資料に基づき説明

委員長 第３号議案について、原案に対する異議の有無を確認

————原案どおり可決————

◎協議・報告事項

協議事項

（１）教育委員会１０００回の歩みについて

吉井委員 福井県は、本日で１０００回目の開催となるが、他県の開催状況はどうか。

企画幹 県によっては、年度ごとに回数を数えているところもあるので、すべては分からないが、直近の開催回数は、多いところで埼玉県の１７３１回、少ないところで青森県の７８３回というような状況である。

（２）新たな本県の教育をめぐる動きについて （高志高校、坂井高校、教育研究所からの報告）

清川委員 企業との連携とは、どのような形で行うのか。

高志高校長 アジアに事業を展開している福井の企業の社員の方に来ていただいて、講演していただくようなことや、インターンシップのような形にする際に、支援していただくことを考えている。

吉井委員 スーパーサイエンスハイスクール（ＳＳＨ）とスーパーグローバルハイスクール（ＳＧＨ）は、別のものとして実施するのか。

高志高校長 ＳＳＨは、昨年度から全校生徒を対象にしているが、ＳＳＨとＳＧＨはコースが分かれることとなる。

西野委員 アジアの母国語は、様々なものがあると思うが、英語については、母国語と同程度の位置づけなのか。

高志高校長 相手方の高校にもよると思うが、英語については、日本よりはるかに教育環境が進んでいる。

教育長 中高一貫教育については、全国でも数少ない状況であることから、全国のモデルとなるよう、学校と教育委員会が連携しながら進めていきたい。
坂井高校については、新しい園芸農業等も取り入れて施設の更新等を検討していきたい。
教育研究所については、ＩＣＴ機能を取り入れることなど、先取りしながら研究を進めていきたい。

吉井委員 嶺南教育研究所の取組みはどうか。

教育研究所長 嶺南教育研究所についても、研修のあり方を協議するなど、同じように改革を進めていく。

(3) 小学校等における新たな教科用図書採択の今後の進め方について

吉井委員 領土問題などについて、教科書の内容に差があるようだが、そのあたりはどうか。

企画幹（義務教育） 先般、文部科学省の検定が終わり、すべての教科書に領土問題が含まれていることとなったが、まだ検定済みの教科書が届いていないため、現時点では申し上げられない。

教育長 教科書採択について、現在、領土問題が大きくクローズアップされているが、どの教科書を使えば子どもたちが分かりやすく理解できるかということを、全体的にとらえて考えていかなければならない。

報告事項

(1) 平成26年3月県立高等学校卒業者の就職状況について

(2) スーパーグローバルハイスクールの指定等について

清川委員 給食には、地元食材がどの程度使われているのか。他県に比べてどうなのか。

スポーツ保健課長 他県と比べて少ないということはない。

吉井委員 小浜市ではかなり以前から地産地消を進めており、食育についても参考になると思うが、どうであるか。

スポーツ保健課長 栄養教諭が地産地消、食育に取り組んでおり、小浜市の活動も参考にしながら進めていきたい。

西野委員 他県に派遣された教員との話の中で、本県の子ども達は、バランスが取れた食事を取っているのが、本県の子どもには肥満児が少ないと聞く。学力・体力が上位であることも、食育と関係が深いと思うので、ぜひ積極的に進めていただきたい。

(3) 平成26年度の学校視察受入状況および福井の教育を紹介するDVDの作成について

委員長 視察受入について、学校側の負担はないのか。また、どのような国から視察があるのか。

企画幹（高校改革） 学校によっては、視察が重なる場合もあるため、調整を行っている。
海外からは、昨年度、中国、韓国、台湾、中東から受け入れた。

教育長 視察受入について、当初は学校側にも戸惑いがあったようだが、今では、
質疑の際、相手側の状況を質問するような形になってきている。受入数が多いことも大変ではあるが、できるだけ要望に応えていきたい。

委員長 本日の会議の終了を宣告